

民衆の声…ボイス 公明党横浜市会ニュース

VOICEよこはま

第34号 《2005.2月号》 公明党横浜市会議員団 〒231-0017横浜市中区港町1-1 TEL671-3023

安心と希望の横浜を!!

上田いさむ衆議院議員

北側一雄国土交通大臣と大いに語る



上田いさむ衆議院議員



北側一雄国土交通大臣



司会：榊原 泰子
横浜市議員

上田議員……………

昨年の9月に財務副大臣に就任しました。

危機的状況にある国の財政を健全化させるとともに、経済の再生に向け全力を尽くします。又、個性と活力に満ち、

さらに、羽田空港の再拡張事業の推進、スーパー中枢港湾に指定された横浜港の国際競争力を高めることも重要と考えております。

北側国交相……………

防災全体を進めるため、去年の教訓を生かしハード・ソフト面ともしっかり整備していきます。

司会……………

2005年も2月に入り通常国会も始まっておりまして、はじめに、今年、力を入れて取り組んでいけることをお話ししていただけますか。

北側国交相……………

昨年5月に特定都市河川浸水被害対策法が施行されました。

河川改修、下水道整備、防災調整池の設置による流域対策などの総合的な治水対策を推進しています。



【災害に強い横浜に】

司会……………

昨年は、大変多くの災害が日本を襲いました。私の住む横浜市西区でも大きな浸水被害が出ました。ビルやアスファルトで覆われた都市では、雨水による洪水を防ぐため、排水施設のネットワーク化などが必要であると思っておりますが。

安心して暮らせる横浜を創っていくために、横浜市議員の皆様と協力し、必要な施策を推進します。

上田議員
 降雨情報や被害予測の一般公表など、危機管理のためのソフト対策も重要ですね。

北側国交相
 横浜市では、鶴見川の氾濫を対象にした洪水ハザードマップが既に作成されていますが、このような洪水ハザードマップの作成・公表を、全国の主要な中小河川に拡大し、平成17年度以降5年間で約2300市町村において作成・公表することとしています。又、「豪雨災害対策緊急アクションプラン」をこの12月10日に策定したところです。

【望まれる横浜の道路整備】

司会

災害時の物資輸送には、道路網が整備されていることが必要です。残念ながら、横浜市は、都市計画道路の整備率が約6割で、大都市の中でも低いレベルにあります。又、住みよい横浜のためにも横浜環状道路やそれを支える幹線道路の整備が望まれますが。

北側国交相
 そうですね。今、横浜環状道路の整備促進に努めています。整備されると、東名高速道路や第三



京浜道路へのアクセスがよくなり、横浜の都心部へ流入する交通もかなり分散されます。

上田議員
 上田議員が、地元の方々と取り組んでおります、相模鉄道本線、天王町・星川間の立体交差事業について、現状をお聞かせ下さい。

上田議員

この事業は、相模鉄道本線にかかる踏切の9箇所を除去し、道路渋滞や踏切事故を解消しようとするものです。
 平成17年度からの仮線切替に向け、用地買収及び仮線工事等を実施しているところです。早期完成に向けて全力で支援して参ります。

【空の港・羽田／海の港・横浜】

司会

ところで、横浜市は、2009年に開港150周年を迎えます。2009年の羽田空港の国際化にあわせて、開港以来の歴史や文化といった横浜の個性をいかした空間整備に期待が寄せられています。神奈川口構の整備や横浜への交通アクセス等、羽田空港再拡張について、現状をお聞かせ下さい。

北側国交相

横浜羽田空港は国内航空輸送ネットワークの要ですが、既に



能力の限界に達しており、4本目の滑走路を整備する再拡張事業の完成が求められています。完成すると、発着容量が約14倍になり、国際定期便の就航や深夜便の受け入れも可能となります。

この構想によって、横浜から空港へのアクセスの改善やまちづくり、観光など多岐にわたり活性化が図られ、横浜の更なる発展が見込まれます。

司会

横浜港と羽田空港が一体的に整備されることで、より一層元氣な横浜が期待されますが。

上田議員

スパイ中樞港湾として新たなチャレンジを始めた横浜港、国際化される羽田空港、そして、海の港と空の港を結ぶ幹線道路、これらが一体となって、横浜に、「ひと」「もの」「情報」をもたらします。まさに横浜にとって第二の開港と、大いに期待しています。



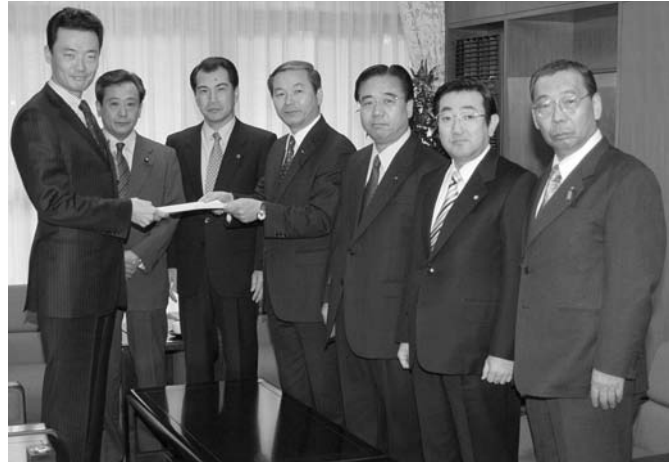
16人のスクラム
2005年をダッシュ

安全・安心の横浜を目指します!!

青葉区 手塚 静江	港北区 鈴木 義久	鶴見区 牧嶋 秀昭	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人
緑区 高橋 正治	緑区 高橋 正治	神奈川区 石井 睦美	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人
保土ヶ谷区 斉藤 伸一	保土ヶ谷区 斉藤 伸一	神奈川区 石井 睦美	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人
旭区 和田 卓生	旭区 和田 卓生	神奈川区 石井 睦美	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人
瀬谷区 加納 重雄	瀬谷区 加納 重雄	神奈川区 石井 睦美	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人
西区 神原 泰子	西区 神原 泰子	神奈川区 石井 睦美	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人
泉区 源波 正保	泉区 源波 正保	神奈川区 石井 睦美	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人
戸塚区 大滝 正雄	戸塚区 大滝 正雄	神奈川区 石井 睦美	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人
港南区 高橋 稔	港南区 高橋 稔	神奈川区 石井 睦美	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人
金沢区 木村 久義	金沢区 木村 久義	神奈川区 石井 睦美	神奈川区 石井 睦美	中区 福島 直子	磯子区 加藤 広人

**中田市長に
 予算要望**

公明党横浜市会議員団(団長・高橋稔)は昨年末、2005年度の予算編成に対する339項目の要望書を中田宏横浜市長に提出しました。
 安心して子育てできる横浜、安心して住める横浜を目指し、政策実現に全力で頑張ります。



中田市長と公明党横浜市会議員団の代表

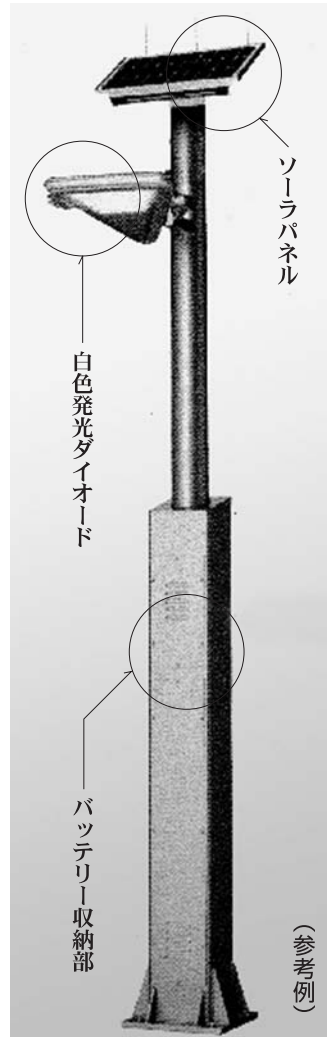
保土ヶ谷区 斉藤 伸一	保土ヶ谷区 斉藤 伸一	保土ヶ谷区 斉藤 伸一	保土ヶ谷区 斉藤 伸一	保土ヶ谷区 斉藤 伸一	保土ヶ谷区 斉藤 伸一
旭区 和田 卓生	旭区 和田 卓生	旭区 和田 卓生	旭区 和田 卓生	旭区 和田 卓生	旭区 和田 卓生
瀬谷区 加納 重雄	瀬谷区 加納 重雄	瀬谷区 加納 重雄	瀬谷区 加納 重雄	瀬谷区 加納 重雄	瀬谷区 加納 重雄
西区 神原 泰子	西区 神原 泰子	西区 神原 泰子	西区 神原 泰子	西区 神原 泰子	西区 神原 泰子
泉区 源波 正保	泉区 源波 正保	泉区 源波 正保	泉区 源波 正保	泉区 源波 正保	泉区 源波 正保
戸塚区 大滝 正雄	戸塚区 大滝 正雄	戸塚区 大滝 正雄	戸塚区 大滝 正雄	戸塚区 大滝 正雄	戸塚区 大滝 正雄
港南区 高橋 稔	港南区 高橋 稔	港南区 高橋 稔	港南区 高橋 稔	港南区 高橋 稔	港南区 高橋 稔
金沢区 木村 久義	金沢区 木村 久義	金沢区 木村 久義	金沢区 木村 久義	金沢区 木村 久義	金沢区 木村 久義

仁田まさとし市議が提案した

安全灯の設置が 予算化!



歩行者の安全対策に期待



(参考例)

このほど示された平成17年度横浜市予算案に、仁田まさとし市議が主張してきた新たな道路照明として、安全灯を設置する予算が計上されました。

現在、防犯灯(20ワット)は、横浜市が設置し自治会・町内会により管理されていますが、自治会・町内会がなく管理が及ばない箇所や狭間では設置が困難な場合があります。さらに、一定の交通量のある道路には街路灯が設置されますが、それほどの交通量がないところはその設置も困難です。

防犯灯の1.5〜2.0倍の明るさで、環境にも優しいソーラー方式の導入も検討されています。平成17年度は横浜市内で、50カ所・400灯の計画を進めることとし、南区

でも数カ所が予定されます。また、自治会・町内会が設置する明るい防犯灯(40ワット水銀灯など)の設置費の一部補助も予定されています。

徘徊高齢者等探索保護支援事業 “三十三あったがコール”

外出をして自分の居場所が分からなくなり、徘徊する高齢者、知的障害児・者の方を早期に発見し、安全の確保をする民間事業者のサービスに南区で助成をしています。手のひらサイズの端末機器を持ってもらうことで本人の居場所を確認することができます。ご家族の負担と不安の軽減が図られ喜ばれています。

仁田市議は、平成10年横浜市会第3回定例会の本会議で、徘徊高齢者等の対応に高度情報通信技術の活用を提案しています。

《問い合わせ：南区役所／サービス課 高齢者支援担当 TEL743-8224》



横浜市が「安全灯」設置へ

「空白地区」を照らせ

街路、防犯灯の対象外道路

横浜市は18日、街路灯や防犯灯の設置対象外な、道路を対象として、新たに「安全灯」(仮称)の設置を進めていく方針を明らかにした。二〇〇四年中に工事を始め、〇五年からは全区にわたっての設置を開始する。通常の防犯灯より、明るさの二倍程度、消費電力は約半分程度、寿命は約二倍程度と見込まれている。

安全灯の提案を報道
[神奈川新聞]
H16.10.19

街路灯(市内約五五)にもならないところ、既に二本化、空白地のりも二倍程度の明るさ(約五五)は大型道路、郊外の住宅地は「空白」情報も集約してきた、設置を確保すること。市に道路局主事務所が、会でも「市」責任、防犯灯、防犯灯(約十七万)を敷けば、と対策を求め、五千四百カ所、は町内会、を敷かすことが、。同日の市会委員提案、要請し管理している。一方で金沢ランド、青森(南区)に上野昭、役の住宅地へ通じる道、道長が着目した。道、なほそのどちらの対策、路局などは管内協議を経て〇四年、から街路、防犯灯、の設置要請、窓口を区役